2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	店頭薬理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	時間(単位)
対 象 学 年	2年生(販売専攻科)		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	藤原 裕行 (フジハラ ユウコウ)	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 目標⇒登録販売者として求められる、薬理を含めた知識・接客ポイント 学習効果⇒店頭で役に立つ実践的效果(薬効別) これからの時代の登録販売者⇒症状に合わせて薬を販売するのは当たり前。訴えている症状の裏側をみれる本物の登録販売者を目指す						
《成績評価の方法と基準》 ①講義への積極意欲的参加による発言 ②態度(姿勢) ③後期試験 ④出席率【出席率がいくらよくても、努力が見えない場合(寝る・携帯を操作する等)に充分留意して講義に参加すること】						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)						
《授業外における学習方法》 実習先、又は実習先以外のドラッグストアなどで、講義で習ったことを確認、自分自身の眼で確かめる。どうしても無理な学生は、講義があったその日の内に最低限、復習だけはしよう。エビングハウスの忘却曲線を忘れてはならない。						
《履修に当たっての留意点》 医療人になる人、異業種に進む人、又はそうでない人も、まずは、「人」としてすべき事は何かをしっかりと考えて欲しい。この私の講義を通じて何でもいから、感じ取ってほしい。と「こころ」からそう願う。片側通行ではなく、この大切な時間を共に作ってゆこう！どんなことでも云って欲しい。必ず力になるので！						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診の「いろ・は」が理解できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	特になし	
		各コマにおける授業予定	症状を確認した後、必ず聞かないと「受診勧奨」か「OTC医薬品」の選別ができない。この基本について学びます。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、肝疾患(脂肪性肝疾患)、高血圧の基本、脂質異常症の予防、死亡原因の変化を理解する。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	①OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。小テスト、健康の概念・生活習慣病(肝疾患、高血圧の基本、脂質異常症の予防、死亡原因の変化)について学びます。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、かぜ薬の接客ポイントを説明できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	②OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。小テスト、症状と原因、配合成分と作用、使用上の注意点、養生法。かぜ薬編(鼻炎、花粉症、せき止め含む)について学びます。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、止めてはいけない咳の説明ができる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	③OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。小テスト、かぜ薬(鼻炎、花粉症、せき止め含む)編シュミレーション①～③について学びます。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、鼻炎・花粉症・せき止めの接客ポイントを説明できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	④OTC薬と医療用薬の違いについて学びます小テスト、かぜ薬(鼻炎、花粉症、せき止め含む)編シュミレーション④～⑥について学びます。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、解熱鎮痛剤の接客ポイントを説明できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	⑤OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。小テスト、症状と原因、配合成分と作用、使用上の注意点、養生法。解熱鎮痛薬シミュレーション①について学びます。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、解熱鎮痛剤の接客ポイントを説明できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	⑥OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。小テスト、解熱鎮痛薬シミュレーション②～④について学びます。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、胃腸薬の接客ポイントIを説明できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	⑦OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。小テスト、一般の胃腸薬と漢方系の胃腸薬の違いは？漢方薬は体質によって使う薬が違うの？胃を守るため胃は普段どんなことをしてるの？		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、胃腸薬の接客ポイントIIを説明できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	⑧OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。小テスト、漢方胃腸薬はストレス性の胃の不調にもいいの？「胃部不快感」って、どんな症状をいうの？胃が荒れるのはどんなとき？		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、胃腸薬の接客ポイントIIIを説明できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	⑨OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。小テスト、胃腸薬編シミュレーション①～④について学びます。胃痛について、必ず問診しないと薬剤が真逆になってしまう恐ろしい部分について学びます。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、『鴨がネギをしょってこない』という深い理解ができる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	⑩OTC薬と医療用薬の違いについて学びます小テスト、カルシウムパラドックスについて説明できる。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、ガスターがなぜ80歳以上は禁忌なのか説明ができる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	⑪OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。ファモチジンは腎臓で排泄されるため、一般に腎機能の低下する高齢者では作用が強くあらわれる可能性があり、慎重に服用する必要がある。80歳以上の高齢者は服用することができないことについて学		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、皮膚病薬編シミュレーション接客ポイントを説明できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	⑫OTC薬と医療用薬の違いについて学びます。ステロイドホルモンの分類と使い方について学びます。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	前回の理解度チェック、腸内環境を整える理由を説明できる。	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	前回までの復習
		各コマにおける授業予定	痔用薬編 便秘薬編 下痢止め薬編 整腸薬について学びます。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	総復習	店頭薬理及び販売に関する理論と実践(作成した資料・テキスト)	これまでの講義の復習
		各コマにおける授業予定	質疑応答と解説		